

令和4年度 対市要望懇談会

市P連では、毎年、市に対する要望事項をまとめ提出しています。今年度は、執行部会や代議員会での協議をふまえ、以下の5点を要望事項としました。

1. 常勤スクールカウンセラー全学校配置
2. 特別支援アシスタントの増員
3. 部活動に対する支援
4. タブレットの効果的活用に対する支援
5. 清掃活動（特に窓清掃）の業者依頼

その懇談会が1月23日（月）に行われました。この日、阿部会長をはじめ市P連執行部員総勢3名で、市長室を訪問しました。

はじめに、阿部会長から浅野市長に要望書をお渡ししました。その後の懇談会では、要望事項の説明とともに、執行部員一人一人が日頃感じている事柄を話しました。

「コロナ禍が収束に向かっているとは言え、まだまだ様々な制約がある中、校長先生を中心に柔軟な対応をしてくださり大変ありがたい」「親が子どもに先に答えを与えてしまう傾向が強くなっている気がする」「タブレットを使うことで書くことがおろそかにならないか心配している」「各務原市はものづくりが盛んな街であるという認識だが、そうした仕事に就きたいという子どもが少ない傾向にあるのでは」など様々な思いが出されました。限られた時間ではありましたが、有意義な懇談会となりました。

